

淑女検定

☑ チャレンジテーマ

華道

約700年の歴史を持つ日本の伝統文化、華道。かつては“嫁入り前のたしなみ”として誰もが習うお稽古事だった。慌ただしい年末、心静かに正月花を生ければ、すがすがしい気持ちで新年を迎えられそうだ。



問題 1 華道とフラワーアレンジメントの違いとは。華道ではあまり使わないものは？

- A. 洋花
- B. 吸水性フォーム
- C. 霧吹き
- D. 椅子

問題 2 草花が長持ちする方法として華道に伝わる先人の知恵とは？根元の処理として間違っているものを一つ選んで。

A. ススキにお湯を掛ける



B. ボタンは焼く



C. ハギは生じょうゆで煮る



D. モミジに酒を吸わせる



問題 3 花一輪でも華道を知る人の生け方は違うという。川内先生おすすめの一輪に込める華道の技とは。

- A. 葉は全て取り除く
- B. 花びんを使わない
- C. 花の表情を見て決める
- D. 花に名前を付ける

SBS学苑
静岡校

今月の先生



【生け花 小原流】講師

川内 貴美子 かわうち きみこ

小原流静岡支部名誉幹部、静岡県華道連盟常任理事
伝統的な生け花からモダンなアレンジまで自由で多彩な表現
方法で花を飾ることへの親しみを伝える

SBS学苑静岡校
INFORMATION

12/26(水) ①15:30~17:00
②18:30~20:00

生け花 小原流 体験講座

講師/川内貴美子
受講料/1,944円 教材費/3,024円

お正月のお花を生けます。

【お問い合わせ・お申し込み】
Tel.054-282-1191

正解 & 解説

問題 1 → 正解 B

基本的に華道は剣山に生ける。例外もあるが、吸水性フォームを使うのはフラワーアレンジメントが多い。剣山は華道が求める微妙な趣きや表情を表現する道具として長(た)けており、伝統の型や角度にのっとり仕上げていく。他の方法で生けることも多々あるが、一輪一輪の出生を大事にするのが華道。「花が語り合うかのように、花と花が向き合った角度で生けると美しいですよ。正座に自信のない方は椅子でどうぞ」と川内先生。

問題 2 → 正解 A

ススキなどイネ科の植物にはお湯ではなく「お酢」が正解。薄めない酢に漬けてから生ける。バラやボタンなど茎の太い花の場合、根元を焼くと水揚げが良くなる。ボタンは炭化するまで焼く。万葉集で多く詠まれたハギ。ハギは生じょうゆで根元を煮るといいそうだ。モミジは根元を削ぎ、酒に漬けて先端にタカノツメを挟む。少しの間そうするだけで持ちが良くなる。酒を吸わせて赤く紅葉させるわけではない。

問題 3 → 正解 C

野に咲いたった一輪の花でも、心を込めて生ければそれが華道。「お手洗いに一輪飾るだけでもすてきです」と川内先生は語る。一番のポイントは、花とじっくり向き合い、表情をつかむこと。葉や茎はそのままにせず、全体のバランスを見ながら程よく整えるのも重要だ。剣山でなく一輪挿しでも十分美しい。近年、若い世代の華道離れが進んでいる。「松や梅、南天などを使った正月花を、ぜひご自分の手で生けてみてください」